

令和元年度  
第3回 喜多方市立塩川小学校学校運営協議会記録

日 時 令和2年 2月25日(火)18:00~19:30

場 所 喜多方市立塩川小学校 図書室

\*全体進行(事務局)

1 開会の言葉(副委員長) 筒井副委員長

2 委員長あいさつ 渡部委員長 12月25日の研修会からのお話

3 教育委員会あいさつ 主幹兼管理主事 武藤先生

・将来的には全ての学校でCSを実施する方向(文科省)。令和2年度は喜多方市としてもCSを増やしていきたい。次年度予算は委員費用弁償のみとなる。

4 協議(座長:委員長)

(1) 令和元年度学校評価のまとめ(事務局:校長)

~質疑応答~

Q:武藤委員 ながら見守りの下校時の見守りについての対策は?

A:校 長 以前は敬老会が「見守り隊」を組織していたが消滅してしまった。様々な拘束や事故発生時の責任がないよう、「ながら見守り」という形になった。夕方の買い物や散歩等で見守っていただきたい。

尾崎委員 関連して、踏切の交差点に交通教育専門員に試験的に立ってもらった。踏切での停車や横断歩道の利用が増えた。成果があったので毎週月曜日に立っていただく運びとなった。

結城委員 除雪の影響で横断歩道が通行できなかつたり、屋根からの落雪が心配な箇所があったりする。冬季の課題として、安全支援の活動に加えていきたい。

Q:佐藤委員 体力づくりへの意識の向上はどのようになっているか?

A:校 長 スポーツ好きになることが優先。朝の活動でマラソンだけでなく鉄棒運動に励む児童もたくさんいる。さらに、子ども達の意欲が高まるよう、師範でできる学習支援を望みたい。

(2) 令和2年度学校運営ビジョンの承認(事務局:校長) 承認いただく。

(3) 令和2年度以降の活動について(事務局)

・各部での話し合い

<広報部> 広報誌は第1回目の7箇所の掲示から、第2回目は17箇所に増やすことができた。ラミネートを掛けたことで、掲示もしやすくなったようだ。

<学校支援部:学習支援> 人材バンクの作成では、いつ・どの学習で・どのような支援が必要なのかを明確にしたい。社会教育とのつながりという面で、協議会がコーディネートしていく役割ではないか。体育では、大学とつなぐことができるのではないか。

<学校支援部:安全支援> 成果があった取組については次年度も継続していく。下校時の安全確保を支援することが課題。ながら見守り隊の制度を周知し、下校時の見守りが薄くならないように人材を確保する。また、下校を見守ってくださる方の声を吸い上げる仕組み作りを行う(1人で子どもに声を掛けると不審者と思われる恐れもあり声を掛けづらい)。学校でもその声を基にすることで、下校指導の充実が期待できる。

<評価部> 学校評価アンケートの内容をあらかじめ委員に示し、学校参観や地域での子ども達の様子を見る視点にしてもらおう。また、学校評価アンケートの見直しも委員と一緒に行っていきたい。先生方からの要望やアイデアをCSと双方向になるような評価をしていきたい。

#### (4) その他

Q:佐藤委員 市教委の後押しはどうなっているか？

A:武藤主幹 2校のモデル事業としてスタートしたが、アピールが足りなかった。3月の議会でもCSは問われる。CSの意味づけは今後大きくなる。

Q:校 長 なぜ、次年度も試行なのか？

A:武藤主幹 全面実施による規則ができあがるのを待つのではなく、要綱で動けるようにした。全校実施ではないのでモデル校での試行という形になってしまう。

小林委員 光の当たらない児童への配慮を継続していただきたい。

校 長 個別の配慮を継続・充実させていく。

渡部委員長 校長の経営方針「あ・は・も」を繰り返し、繰り返し伝えていく。

#### 5 その他

校 長 コロナウィルス感染拡大について、6月実施予定であった修学旅行を、10月に延期した。今後も、市教委の指示を仰ぎながら適切に対応を進めていく。

#### 6 閉会の言葉(副委員長) 筒井副委員長